



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,810	5.1	1,257	17.1	1,269	17.3	1,000	8.9
2019年3月期	9,332	7.8	1,517	1.8	1,535	3.0	1,098	16.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	117.84		7.2	7.8	12.8
2019年3月期	128.13		8.2	9.7	16.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	16,569	14,149	85.4	1,668.69
2019年3月期	16,155	13,741	85.1	1,603.12

(参考) 自己資本 2020年3月期 14,149百万円 2019年3月期 13,741百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,269	553	602	7,313
2019年3月期	704	247	385	7,200

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		47.00	47.00	402	36.7	3.0
2020年3月期		0.00		49.00	49.00	415	41.6	3.0
2021年3月期(予想)		0.00		49.00			57.0	

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	8.8	400	39.2	400	39.4	300	36.9	35.33
通期	9,200	6.2	1,000	20.5	1,000	21.2	700	30.0	82.45

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,760,000 株	2019年3月期	8,760,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	280,701 株	2019年3月期	188,082 株
期中平均株式数	2020年3月期	8,490,204 株	2019年3月期	8,570,161 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明会内容について)

当社は、2020年5月27日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言などを考慮し、中止することいたしました。なお、説明会で使用する予定だった資料については、2020年5月27日(水)にTDnetおよび自社ホームページで開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な会計方針)	12
(追加情報)	13
(損益計算書関係)	13
(持分法損益等)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用環境・所得環境が改善を続ける中で、企業収益も高い水準を維持し、緩やかな景気回復基調にありましたが、10月に実施された消費増税の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の拡大により景気の押し下げ懸念が強まり、予断を許さない厳しい状況となりました。

医療機器業界においては、新型コロナの拡大により医療現場がひっ迫した状況を迎える中で、医療体制を維持し、医療従事者を支える産業としての社会的責務を果たすために、各社がそれぞれの立場において負うべき役割が問い直されております。

このような経営環境の中で当社は、主力製品である採血管準備装置について、より安全で正確な採血業務を実現する高機能モデルの普及に努めながら、中小規模の医療施設に向けた小型製品「BC・ROBO 7」の販売拡大や、消耗品等の安定供給にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当事業年度の売上高は9,810,534千円(前年同期比5.1%増加)となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比2.7ポイント減少し8.7%となりました。

利益面に関しては、売上高の増加により売上総利益が4,498,483千円(前年同期比3.3%増加)となったものの、販売費及び一般管理費については、人員増による人件費の増加などにより3,240,729千円(前年同期比14.2%増加)となり、営業利益は1,257,753千円(前年同期比17.1%減少)、経常利益は1,269,747千円(前年同期比17.3%減少)、当期純利益は1,000,452千円(前年同期比8.9%減少)となりました。

品目別の実績は、次のとおりであります。

		前事業年度 累計期間	当事業年度 累計期間	前期比
		(百万円)	(百万円)	(%)
国内	採血管準備装置	3,221	3,822	18.7
	検体検査装置	486	462	△4.9
	消耗品等	4,555	4,673	2.6
海外	採血管準備装置	581	411	△29.3
	検体検査装置	133	107	△19.3
	消耗品等	352	332	△5.8
合	計	9,332	9,810	5.1

<採血管準備装置>

当事業年度における採血管準備装置の売上高は4,233,448千円(前年同期比11.3%増加)となりました。

国内市場の売上高は、大規模の医療施設における更新案件が今年度に集中したことにより、3,822,095千円(前年同期比18.7%増加)となりましたが、海外市場においては、前年度に中国向けの販売案件が集中した反動や、新型コロナの影響により中国向けの案件に遅延が生じたことなどから、売上高は411,353千円(前年同期比29.3%減少)となりました。

<検体検査装置>

当事業年度における検体検査装置の売上高は570,813千円(前年同期比8.0%減少)となりました。

主力製品である血液ガス分析装置について、販売が伸長した昨年度に比べて、国内市場・海外市場ともに足踏みが見られた結果、国内市場での売上高は462,991千円(前年同期比4.9%減少)、海外市場での売上高は107,822千円(前年同期比19.3%減少)となりました。

<消耗品等>

当事業年度における消耗品等の売上高は5,006,272千円(前年同期比2.0%増加)となりました。

国内市場での売上高は、装置の累計販売台数の増加に伴って4,673,664千円(前年同期比2.6%増加)となった一方、海外市場での売上高は、前期比で減少となる332,607千円(前年同期比5.8%減少)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産の残高は16,569,923千円となり、前事業年度末比414,732千円増加しました。これは主に、商品及び製品が337,112千円減少した一方、現金及び預金が243,414千円増加、本社近隣の賃借物件内に物流センターを新設したこと等により建物が186,589千円増加、消耗品製造設備を新設したこと等により機械装置が141,401千円増加したほか、仕掛品が91,693千円増加したこと、債権回収方法の変更により電子記録債権が90,022千円増加したこと等によるものであります。

当事業年度末の負債の残高は2,420,629千円となり、前事業年度末比7,278千円増加しました。これは主に、未払金が96,519千円増加、未払消費税等が93,786千円増加した一方、未払法人税等が162,828千円減少したことによるものであります。

当事業年度末の純資産の残高は14,149,293千円となり、前事業年度末比407,453千円増加しました。これは、利益剰余金が597,572千円増加したことと、自己株式の増加190,332千円があったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は85.4%となり、前事業年度末比0.3ポイント増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、7,313,630千円（前年同期比113,218千円増加）となりました。なお、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、営業活動により得られた資金は1,269,281千円（前年同期比565,025千円増加）となりました。これは主に、税引前当期純利益が1,339,010千円であった一方、棚卸資産の減少額が236,451千円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、投資活動により支出した資金は553,145千円（前年同期比305,949千円増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出423,114千円があったことと、定期預金の預入による支出130,196千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、財務活動により支出した資金は602,917千円（前年同期比217,032千円増加）となりました。これは、配当金の支払額402,903千円があったほか、自己株式の取得による支出200,013千円があったことによるものであります。

なお、当社のキャッシュ・フロー関連指標の推移は以下のとおりであります。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率（%）	84.02	85.06	85.39
時価ベースの自己資本比率（%）	119.87	114.03	111.18
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	15,804.94	9,909.75	—

(注) 1. 各指標の算式は以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

2021年3月期においては、主力装置である採血管準備装置について、大型の更新案件が一巡し、更新需要の谷間に差し掛かることが予想されます。また、社員の働き方改革推進に伴う処遇改善、顧客サービス体制の拡充を目的とした人員増などにより、人件費をはじめとする販売管理費の増加傾向が続くことを見込んでおります。

これらの見通しを踏まえ、翌事業年度(2021年3月期)の業績につきましては、売上高9,200百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,000百万円、当期純利益700百万円を予想しております。

なお、上記の業績見通しについて、新型コロナによる影響は見込んでおりません。また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較、企業間比較の可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,518,650	9,762,065
受取手形	46,387	50,261
電子記録債権	378,281	468,304
売掛金	2,795,226	2,803,941
商品及び製品	1,328,094	990,982
仕掛品	153,913	245,606
原材料及び貯蔵品	113,835	122,803
前払費用	32,326	39,714
未収消費税等	11,412	-
その他	10,887	30,754
貸倒引当金	△2,241	△2,241
流動資産合計	14,386,774	14,512,192
固定資産		
有形固定資産		
建物	954,961	1,174,673
減価償却累計額	△564,466	△597,589
建物（純額）	390,494	577,083
構築物	4,077	2,577
減価償却累計額	△3,619	△2,334
構築物（純額）	458	243
機械及び装置	186,219	350,019
減価償却累計額	△137,527	△159,925
機械及び装置（純額）	48,691	190,093
工具、器具及び備品	173,196	211,447
減価償却累計額	△132,329	△160,748
工具、器具及び備品（純額）	40,867	50,698
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,267,837	1,605,445
無形固定資産		
電話加入権	1,177	1,177
特許権	1,793	1,562
ソフトウェア	13,640	26,315
ソフトウェア仮勘定	18,770	-
無形固定資産合計	35,382	29,056
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期前払費用	26,975	23,769
繰延税金資産	316,562	304,657
その他	114,147	87,291
投資その他の資産合計	465,196	423,228
固定資産合計	1,768,416	2,057,730
資産合計	16,155,190	16,569,923

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,111,813	1,081,542
未払金	252,733	349,253
未払費用	67,794	76,209
未払法人税等	293,802	130,974
未払消費税等	—	93,786
前受金	118,385	162,504
預り金	9,601	11,752
賞与引当金	130,333	157,369
役員賞与引当金	28,300	14,625
前受収益	129,559	147,789
その他	1,275	1,252
流動負債合計	2,143,599	2,227,060
固定負債		
退職給付引当金	134,165	156,999
役員退職慰労引当金	122,423	—
製品保証引当金	3,177	969
その他	9,984	35,598
固定負債合計	269,750	193,568
負債合計	2,413,350	2,420,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金		
資本準備金	967,926	967,926
その他資本剰余金	—	214
資本剰余金合計	967,926	968,140
利益剰余金		
利益準備金	18,483	18,483
その他利益剰余金		
別途積立金	8,300,000	8,800,000
繰越利益剰余金	3,776,579	3,874,152
利益剰余金合計	12,095,063	12,692,636
自己株式	△390,949	△581,282
株主資本合計	13,741,840	14,149,293
純資産合計	13,741,840	14,149,293
負債純資産合計	16,155,190	16,569,923

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	9,332,420	9,810,534
売上原価		
製品期首たな卸高	921,975	1,328,094
当期製品製造原価	5,383,910	4,974,937
合計	6,305,886	6,303,032
製品期末たな卸高	1,328,094	990,982
製品売上原価	※1 4,977,791	※1 5,312,050
売上総利益	4,354,628	4,498,483
販売費及び一般管理費	※2, ※3 2,836,836	※2, ※3 3,240,729
営業利益	1,517,792	1,257,753
営業外収益		
受取利息	314	329
受取配当金	1,662	1,645
受取賃貸料	5,259	5,999
受取補償金	6,573	-
その他	4,470	5,905
営業外収益合計	18,280	13,878
営業外費用		
支払利息	71	-
為替差損	771	642
その他	4	1,242
営業外費用合計	846	1,885
経常利益	1,535,226	1,269,747
特別利益		
受取損害賠償金	16,510	80,000
特別利益合計	16,510	80,000
特別損失		
固定資産除却損	-	※4 183
訴訟関連費用	2,152	10,553
特別損失合計	2,152	10,736
税引前当期純利益	1,549,583	1,339,010
法人税、住民税及び事業税	479,808	326,652
法人税等調整額	△28,324	11,905
法人税等合計	451,483	338,558
当期純利益	1,098,100	1,000,452

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		5,049,118	94.3	4,729,305	93.3
II 労務費		241,053	4.5	246,552	4.9
III 経費		65,687	1.2	90,773	1.8
当期総製造費用		5,355,859	100.0	5,066,631	100.0
期首仕掛品たな卸高		181,964		153,913	
合計		5,537,823		5,220,544	
期末仕掛品たな卸高		153,913		245,606	
当期製品製造原価		5,383,910		4,974,937	

(注) 原価計算の方法は、ロット別個別原価計算であります。

※主な内訳は以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費 (千円)	33,105	39,918

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	1,069,800	967,926	—	967,926	18,483	7,800,000	3,564,296
当期変動額							
剰余金の配当							△385,493
当期純利益							1,098,100
別途積立金の積立						500,000	△500,000
自己株式の取得							
自己株式の処分			△323	△323			
自己株式処分差損の振替			323	323			△323
当期変動額合計	—	—	—	—	—	500,000	212,282
当期末残高	1,069,800	967,926	—	967,926	18,483	8,300,000	3,776,579

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
	利益剰余金合計			
当期首残高	11,382,780	△402,786	13,017,720	13,017,720
当期変動額				
剰余金の配当	△385,493		△385,493	△385,493
当期純利益	1,098,100		1,098,100	1,098,100
別途積立金の積立	—		—	—
自己株式の取得		△124	△124	△124
自己株式の処分		11,961	11,638	11,638
自己株式処分差損の振替	△323		—	—
当期変動額合計	712,282	11,836	724,119	724,119
当期末残高	12,095,063	△390,949	13,741,840	13,741,840

当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	1,069,800	967,926	—	967,926	18,483	8,300,000	3,776,579
当期変動額							
剰余金の配当							△402,880
当期純利益							1,000,452
別途積立金の積立						500,000	△500,000
自己株式の取得							
自己株式の処分			214	214			
当期変動額合計	—	—	214	214	—	500,000	97,572
当期末残高	1,069,800	967,926	214	968,140	18,483	8,800,000	3,874,152

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
	利益剰余金合計			
当期首残高	12,095,063	△390,949	13,741,840	13,741,840
当期変動額				
剰余金の配当	△402,880		△402,880	△402,880
当期純利益	1,000,452		1,000,452	1,000,452
別途積立金の積立	—		—	—
自己株式の取得		△200,013	△200,013	△200,013
自己株式の処分		9,681	9,895	9,895
当期変動額合計	597,572	△190,332	407,453	407,453
当期末残高	12,692,636	△581,282	14,149,293	14,149,293

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,549,583	1,339,010
減価償却費	70,999	94,017
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,833	△122,423
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,855	22,834
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,055	27,036
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,625	△13,675
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3,757	△2,207
受取利息及び受取配当金	△1,976	△1,974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	680	-
支払利息	71	-
有形固定資産除却損	-	183
売上債権の増減額 (△は増加)	1,332	△102,612
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△400,305	236,451
仕入債務の増減額 (△は減少)	△121,465	△30,271
その他の資産の増減額 (△は増加)	23,589	21,581
その他の負債の増減額 (△は減少)	84,166	286,721
小計	1,224,286	1,754,672
利息及び配当金の受取額	1,976	1,974
利息の支払額	△71	-
法人税等の支払額	△521,935	△487,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,255	1,269,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,186	△130,196
差入保証金の差入による支出	△31,412	△6,361
差入保証金の回収による収入	3,042	8,894
有形固定資産の取得による支出	△73,071	△423,114
無形固定資産の取得による支出	△25,568	△2,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,195	△553,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△124	△200,013
配当金の支払額	△385,759	△402,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△385,884	△602,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,175	113,218
現金及び現金同等物の期首残高	7,129,237	7,200,412
現金及び現金同等物の期末残高	7,200,412	7,313,630

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品、仕掛品及び原材料

月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

ただし1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 : 8～38年

構築物 : 15～20年

機械及び装置 : 7～12年

工具、器具及び備品 : 2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

ソフトウェア

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法を採用しております。

特許権

特許権については、定額法（償却期間8年）を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社内規に基づく期末要支給額を計上しております。なお、当事業年度末の残高はありません。

(6) 製品保証引当金

販売済み製品の無償でおこなう消耗部品の取替費用に充てるため、販売台数を基準として過去の実績率により算定した額を計上しております。

4. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(追加情報)

当社は、2019年6月26日開催の第32期定時株主総会において、取締役に対する退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給ならびに退任取締役に対する退職慰労金贈呈について決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、支給済分を除く打ち切り支給額の未払分35,598千円を固定負債のその他(長期未払金)に含めて表示しております。

(損益計算書関係)

※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	117,625千円	20,889千円

※2 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度22.8%、当事業年度20.3%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度77.2%、当事業年度79.7%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
給与手当	952,531千円	1,098,649千円
役員報酬	86,288	85,803
賞与引当金繰入額	97,206	118,668
役員賞与引当金繰入額	28,300	14,625
退職給付費用	5,830	22,231
役員退職慰労引当金繰入額	5,558	-
福利厚生費	173,925	198,640
荷造運賃	197,757	199,294
旅費交通費	131,451	130,253
減価償却費	18,404	32,017
支払手数料	165,154	164,943
研究開発費	559,432	676,275
貸倒引当金繰入額	1,599	-

※3 一般管理費に含まれる研究開発費の総額

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	559,432千円	676,275千円

※4 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
工具、器具及び備品	-千円	0千円
構築物	-千円	183千円

(持分法損益等)

前事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社は、医療機器およびこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであります。

当事業年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社は、医療機器およびこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであります。

【関連情報】

前事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントのため、セグメント情報に代えて、製品群別の販売実績を記載しております。
(単位：千円)

	採血管準備装置	検体検査装置	消耗品等	合計
外部顧客への売上高	3,803,127	620,565	4,908,727	9,332,420

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	ヨーロッパ	中南米	アジア	海外その他	合計
8,264,024	78,307	94,486	888,610	6,990	9,332,420

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が貸借対照表の有形固定資産の90%超であるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載をおこなっておりません。

当事業年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントのため、セグメント情報に代えて、製品群別の販売実績を記載しております。
(単位：千円)

	採血管準備装置	検体検査装置	消耗品等	合計
外部顧客への売上高	4,233,448	570,813	5,006,272	9,810,534

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	ヨーロッパ	中南米	アジア	海外その他	合計
8,958,751	121,055	75,879	646,402	8,445	9,810,534

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が貸借対照表の有形固定資産の90%超であるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載をおこなっておりません。

（1株当たり情報）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり純資産額	1,603.12円	1,668.69円
1株当たり当期純利益金額	128.13円	117.84円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
当期純利益（千円）	1,098,100	1,000,452
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	1,098,100	1,000,452
期中平均株式数（株）	8,570,161	8,490,204

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

販売実績単一セグメント内の品目別販売実績

単一セグメント内品目別	当事業年度(第31期) （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	前期比 （%）
採血管準備装置（千円）	4,233,448	111.3
検体検査装置（千円）	570,813	92.0
消耗品等（千円）	5,006,272	102.0
合計（千円）	9,810,534	105.1

（注）1. 輸出高の総額及び総販売実績に対する輸出高の割合は、次のとおりであります。

輸出先	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）		当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	
	金額（千円）	割合（%）	金額（千円）	割合（%）
ヨーロッパ	78,307	7.3	121,055	14.2
中南米	94,486	8.8	75,879	8.9
アジア	888,610	83.2	646,402	75.9
その他	6,990	0.7	8,445	1.0
合計	1,068,395 (11.4%)	100.0	851,783 (8.7%)	100.0

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。